



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7310	3.7570	3.7500	3.7500	3.7070	-0.0430
	BRL/JPY	Spot	29.76	29.77	29.79	29.77	30.01	+0.24
	EUR/USD	Spot	1.1705	1.1693	1.1660	1.1586	1.1568	-0.0018
	USD/JPY	Spot	111.04	111.83	111.73	111.63	111.25	-0.38
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.710	6.735	6.735	6.774	6.780	0.006
	Future	1Year(p.a.)	7.417	7.401	7.396	7.416	7.424	0.008
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.481	3.486	3.470	3.447	3.507	+0.060
	USD	1Year(p.a.)	3.842	3.861	3.866	3.863	3.870	+0.006
株式	Bovespa指數	80,275.63	79,220.44	79,301.63	79,636.69	81,434.98	+1,798.29	
CDS	CDS Brazil 5y	212.00	214.65	215.71	216.68	213.14	-3.54	
商品	CRB指數	195.754	194.530	191.641	192.651	193.235	+0.584	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは貿易摩擦を巡る米中の動向を睨みながら3.70-3.78でのレンジ推移が継続。
- 今週のレアルは3.7090で寄り付いた。米中の貿易摩擦激化を受けたリスクオフムードから週半ばにかけて軟調推移。週間安値3.7800まで下落した。その後、中国当局が人民元下落の抑制に向けた施策を発表したことを好感してリスクオフムードがやや後退。日中高値3.7010まで反発し、結局3.7070で越週した。尚、1日に結果が発表された米FOMC、伯COPOMでは特段の新たな材料は示されず、市場の反応は限定的だった。
- 週初7月30日に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.50%、2019年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.11%、2019年が4.10%で据え置き。年末の為替レートについても2018年、2019年ともに3.70で据え置かれた。
- 1日、伯中銀は8月末期日のドル売りスワップポジションについてロールオーバーの入札を開始した。金額は1日当たり2.4億ドル。このペースが続けば同ポジションは全てロールオーバーされ、月末にポジションの期日到来に伴うドル買いは発生しない。
- 2日に発表された6月の伯鉱工業生産は前月比+13.1%と5月の▲10.9%から大幅に改善。5月に発生した物流ストが早期に収束したことで経済活動が急速に回復したことが示された。
- 3日、中国人民政府は為替フォワード取引の一部を対象に20%の準備金義務付けを発表。当局が人民元下落を抑制する姿勢を示したことで、市場ではリスクオフムードの後退が見られた。
- 3日に発表された7月の米雇用統計は非農業部門雇用者数が15.7万人増と予想の19.3万人を下回ったが、6月分は21.3万人増から24.8万人増へ上方修正された。失業率は前月の4.0%から3.9%へ低下。また平均時給は前月比+0.3%と前回の+0.1%から伸びが加速した。

3.今週のチャート&ハイライト



COPOMは物流ストの影響を一時的なものと評価

1日のマーケット引け後に発表されたCOPOMでは予想通り政策金利を6.50%で据え置いた。金利の据え置きは今年5月の会合から3回連続となる。声明文では、5月に起きた物流ストによる経済活動の停滞やインフレ上昇圧力は一時的なものであると指摘。一方、リスク要因として先進国の金融正常化に加え、貿易戦争に関する不透明感を新たに追加した。次回9月会合での判断は経済活動やリスクバランス、インフレ見通し次第として特段のガイダンスは示さなかったが、急速に進んだレアル安の動きが落ち着きを見せる中、大統領選挙を前に金融政策の現状維持が容易になったものと考えられる。



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.70—3.80

来週のレアルは軟調な動きを予想する。今週、週末にかけて中国当局による人民元安への対応を好感したリスクオフモードの後退が見られたが、米中の貿易問題では新たな制裁や報復措置の動きが激化している。新興国市場に対するリスク選好の回復が見込みにくい中、レアルは軟調な展開が見込まれる。

来週、国内では今週行われたCOPOMの議事録が7日に発表される。声明文の中でリスク要因として追加された貿易戦争の不透明感について、COPOMメンバーによる議論の内容に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	マーケット・プライルPMIコンポジット	--	50.4	47.0
ブラジル	マーケット・プライルPMIサービス	--	50.4	47.0
米	貿易収支	-\$46.5b	-\$46.3b	-\$43.1b
米	非農業部門雇用者数変化	193k	157k	213k
米	失業率	3.9%	3.9%	4.0%
米	ISM非製造業総合景況指数	58.6	55.7	59.1

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/6	貿易収支(週次)	Aug 5	--	--
ブラジル	8/8	FGV CPI IPC-S	Aug 7	0.23%	0.17%
ブラジル	8/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jul	0.40%	1.48%
ブラジル	8/8	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jul	4.41%	4.39%
ブラジル	8/8	IBGEインフレIPCA(前月比)	Jul	0.26%	1.26%
ブラジル	8/9	FIPE CPI-週次	Aug 7	0.23%	0.26%
米	8/9	PPI 最終需要(前月比)	Jul	0.2%	0.3%
米	8/9	PPI (除食品・エネルギー、前月比)	Jul	0.3%	0.3%
米	8/9	卸売在庫(前月比)	Jun	0.0%	0.0%
ブラジル	8/10	小売売上高(前月比)	Jun	0.2%	-0.6%
ブラジル	8/10	小売売上高(前年比)	Jun	2.5%	2.7%
ブラジル	8/10	広義小売売上高(前月比)	Jun	2.0%	-4.9%
ブラジル	8/10	広義小売売上高(前年比)	Jun	3.1%	2.2%
米	8/10	CPI(前月比)	Jul	0.2%	0.1%
米	8/10	CPI除食品・エネルギー(前月比)	Jul	0.2%	0.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。